

【純増率】

選定理由 相対的にどれだけ会員が増えたかを客観的に判断するため。

計算式の理由 1月1日の会員数を9月30日の会員数で割り返すことにより  
1月1日を基準にどのくらい増えたかが明確にし判断します。  
例 9月30日の会員数80名÷1月1日の会員数70名=1.14

【エリア対抗戦】

選定理由 県内一部の市町村堺などで新入会員勧誘エリアが2つ以上のLOMで重複している地域があります。もちろん、職場と自宅の位置関係や距離、商売の商圏等により隣のLOMへの入会を検討している人がいるかもしれません。従来の手法にとらわれることなく、近隣LOMとの情報交換を緊密にすることで新しい候補者が出るかもしれません。

計算式の理由 また、初対面の見ず知らずの方が勧誘に行くよりも、隣のLOMで顔の利く同業メンバーに同伴を依頼するなど様々な可能性があると考えられます。各エリアごとに人数を合算し、1月1日の会員数を9月30日の会員数で割り返すことにより、どのくらい増えたかを判断します。  
例 9月30日のエリア会員数166名÷1月1日の会員数133名=1.24

【20歳代部門】

選定理由 会員における平均在籍年数は、5年ともいわれてます。青年会議所を理解し主体性をもって活動をしたり、後輩への指導を行うことを考えると、一定の在籍年数は必要だと考えます。

計算式の理由 9月30日の会員数を入会日時点で20歳代の新入会員数で割り返すことで、LOMに占める20歳代の比率を比較し判断します。  
例 20歳代2名÷9月30日会員数80名×100=2.5%  
例 20歳代6名÷9月30日会員数80名×100=7.5%

【女性会員部門】

選定理由 男女雇用機会均等、女性の社会進出など女性の活躍の場が広がっている反面、会員数から比較するとまだまだ女性会員数が低いのが現状です。女性にも活動しやすいLOMを目指し、女性会員の拡大を推進していく必要があります。

女性会員部門 既存女性会員が少ないLOMほど、女性会員を入会させるのはハードルが高いと考え、9月30日の女性会員数を女性の新入会員数で除して1加えた女性のみの純増率で判断します。  
(女性の新入会員数 ÷ 9月30日の女性会員数) + 1  
例 既存女性会員2名、新入女性会員0名 = 0名 ÷ 2名 + 1 = 1  
例 既存女性会員5名、新入女性会員2名 = 2名 ÷ 7名 + 1 = 1.28  
例 既存女性会員2名、新入女性会員5名 = 5名 ÷ 7名 + 1 = 1.71  
例 既存女性会員0名、新入女性会員3名 = 3名 ÷ 3名 + 1 = 2  
この計算式だと、既存女性会員0名のLOMが女性会員を1名以上の入会で計算から導かれた数字が2で高止まるため、同率の場合は新入女性会員の多いLOMを褒章とする